

# Friends of the United Nations Dr. Noel J. Brown - message -



## ～ 3.11 あれから 1 年～

1 年前、ニューヨークタイムズに掲載された写真は遺体安置所で立ち尽くす父親の姿だった。  
ブルーシートの上で数十の遺体の中から我が子を探す父親。  
雪の中、何処までも並ぶ棺に瞳を堅く閉じ敬礼する悲しき自衛官の姿…。  
廃墟と化した街で座り込む少女の姿…。  
脳裏から今も離れない。

あれから 1 年。  
地震、津波、原発事故。

これほど幾つもの苦難を強い運命とは… かくも凄惨で口惜しいものか!?  
何の罪もない被災された方々に、運命とはかくも無慈悲なものなのか!? と…。

言葉すら出てこなかった。

先人たちは今も空から語ってくれます。  
亡くなった方やいまだ行方不明の方々の意思を繋げて欲しい…と。

67 年前、日本は終戦から立ち直りました。  
数々の大震災や台風、多くの大自然の猛威を一つ一つ乗り越えて来ました。

涙が涸れ果てても、たとえ心が折れても、先人たちは苦難を越えて、  
不安を明日へのエネルギーに変え、雄々しく立ち上がってきました。

皆で受け止めましょう。  
そして、信じましょう。

故人、仲間、見守ってくれる世界中の友と一緒に。

心の笛に耳を澄まし、生きるという意味を想いを共にして  
ワカチアイタイものです…。